

パス ITパスポート試験

ビジネスにITを活用する
すべての社会人に役立つ

国家試験

日本の元気を
i
パスで!!



iパス公式キャラクター



上峰 亜衣 (うえみね あい)

PROFILE

社会人2年目、23歳。大手商社の経営企画部門に所属。業務に必要なITと経営に関する基礎知識を得るため、iパスに挑戦。2回目で合格(750点)。iパスで得た幅広い知識を活かして、日々、奮闘中。



iパスは、IT化が進んだ現代社会で活躍するためのパスポートとして、すべての社会人に役立つ国家試験です。

iパス (ITパスポート試験) はセキュリティやネットワークなどのITに関する基礎知識をはじめ、経営戦略、財務、法務、プロジェクトマネジメントなど、幅広い分野の総合的知識を問う国家試験です。iパスを通じて社員一人ひとりに“IT力”が備わることにより、組織全体の“IT力”が向上し、様々な効果が期待されます。

社員一人ひとりのIT力が測れる！

情報セキュリティに関する問題を積極的に出題！

実務に活かせる役立つ試験！

iパスのメリット

ITを活用した業務効率化に



iパスを通じて習得したITの基礎知識を業務に積極的に活用することで、業務効率化を図ることができます。ITを取り入れた新規ビジネス・イノベーションの提案ができる人材の育成にも役立ちます。また、ITに関する基礎知識は、社内の情報システム部門との円滑なコミュニケーションにも役立ちます。

営業力の強化と新規ビジネスの拡大に



営業職であれば、ITの基礎知識が身につくことで、顧客に対して製品やサービスを具体的にわかりやすく説明できるようになったり、顧客のニーズをより深く把握できるようになります。iパスは、ITを活かした営業力の強化、新規ビジネスの拡大につながります。

情報セキュリティ対策・コンプライアンス強化に

情報セキュリティ・情報モラルに関する基礎知識が身につくことで、インターネット、電子メール、社内システムの利用など、日常業務の中に、「機密情報の漏えい」や「ウイルス感染」など様々なリスクがあることを理解できるようになります。社員一人ひとりが正しい知識を身につけて意識をすることで、被害を未然に防ぎ、リスクの軽減につながります。同時に企業のコンプライアンス向上に貢献します。

経営全般に関する幅広い知識が身につく！



iパスは、ITに関する知識にとどまらず、経営戦略、財務、法務など、ITを活用する上で前提となる幅広い知識がバランス良く習得できます。そうした知識が身につくことで、業務の課題把握と、ITを活用した課題解決力が備わり、組織全体の業務改善につながります。

● iパス活用企業から、多くの声が寄せられています ●

社内で顧客データを分析する力だけでなく、財務、法務などの理解力向上の効果があつた。

情報システム部門との意思疎通が円滑になり、業務の効率やクオリティが高まった。

セキュリティ・不正アクセス対策の基礎知識が向上した。

顧客のニーズを正確に理解できるようになり、信頼関係の構築に役立っている。

身についたITの知識は、営業活動において武器になっている。

iパスを活用することで、社員・組織全体のIT力アップが図れます!!

新卒採用、社員教育、入社前の取得推奨など、iパス活用企業が増加!

多くの大学で活用

全国多数の大学でiパスが評価されています!

対策支援講座

実施校 全国 **145** 大学

単位認定制度

実施校 全国 **102** 大学

入試優遇制度

実施校 全国 **147** 大学

受験推奨制度

実施校 全国 **110** 大学

授業カリキュラム策定

実施校 全国 **97** 大学

※各大学へのアンケート調査の結果、ご回答いただいた内容を基に、IPAがまとめたものです。(2013年3月調べ)

新卒採用での活用

新卒採用時のエントリーシートで、iパスの可否やスコアを確認する企業が増加傾向にあります。IT力を測る客観的な評価尺度の一つとして、iパスが活用されています。

NEC

NTT Data

大塚商会

共同印刷

Designing The Future
KDDI

Kowa

CONEXIO
人をつなぐ、価値をつなぐ

Panasonic

HITACHI
Inspire the Next

FUJITSU

●アイネット●SCSK●NECネットエスアイ●NTTコムウェア●キャノンマーケティングジャパン●埼玉県警察●トヨタデジタルクルーズ●トヨタコミュニケーションシステム
●日本総研情報サービス●日立ソリューションズ●日立産業制御ソリューションズ●日立情報通信エンジニアリング●日立公共システム●日立ハイシステム21●日立INSソフトウェア
●日立システムズ●日立キャピタル●PFU●三菱総研DCS etc.

社員教育での活用

組織全体や社員のIT力・ITリテラシー向上を図ることを目的に、iパス合格を推奨する企業や、iパスの社内研修を開催する企業、合格者に合格一時金を支給する企業など、多くの企業でiパスが活用されています。

また、入社前の内定者に対してiパスを推奨・受験させる企業も増えています。

朝日新聞

株式会社朝日新聞社

紙の新聞だけでなく、IT技術を組み合わせたニュース発信にも力を入れているため、社員のデジタル対応力強化にiパスの取得を推奨・支援。取得を希望する社員の受験手数料は会社で全額負担し、資格の取得を推奨している。

ANA

全日本空輸株式会社

ITを全体統括する業務プロセス改革室は、IT及びビジネス部門出身者が一緒に業務を行っており、異なる専門性のシナジーを最大化するためにはIT基礎スキルの組織的向上が不可欠となったため、室内全員のiパス取得を必須と判断している。

DNP

大日本印刷株式会社

どの業務においても、基礎的なITの知識がなければ円滑な業務は遂行できないため、iパスを重要視。情報システム部門の社員が講師となり、受講希望者に対して集中対策講座を実施している。

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社

全社員が対象となる資格取得奨励制度にiパス含め情報処理技術者試験の全区分を設定。合格者には一時金を支給し、合格を支援。

● 国家戦略においても「iパス」活用を明記 ●

平成25年6月に閣議決定された「世界最先端IT国家創造宣言」において、「情報モラルや情報セキュリティに関する知識を含め、国民全体の情報の利活用力の向上を図る。」とされたことを受け、同宣言の具体的な施策をまとめた改定工程表(H28.5.20 IT総合戦略本部決定)では、「国家試験(ITパスポート試験)の活用促進等の

企業人へのIT基礎知識の向上に向けた取組を行う」と明記されています。

iパスを活用することで、効率的な人材育成が図れるほか、ITの積極的活用による業務の改善・生産性向上、情報セキュリティ・プライバシー・コンプライアンスに関する知識保有によるリスク低減が期待されます。

iパスの特徴

iパスはCBT方式により、年間を通して試験を実施しています。CBT方式とは、パソコンを利用して実施する試験のことで、受験者は試験会場にて、パソコンに表示された試験問題に解答する方式です。

いつでも、どこでも、受験ができる!

- 自分の都合に合わせて、試験日時や試験会場を選択できます。
- 全国約100の試験会場で受験できます。

結果がすぐにわかる!

- 試験結果が、その場ですぐにわかります。
- IT力をスコア(1,000点満点)で確認できます。

得意分野・苦手分野がわかる!

- 分野別のスコアが確認できます。
- 苦手分野が把握でき、次回に向けて対策できます。

iパスで問われる知識

ストラテジ系 経営全般	経営戦略、財務、法務など経営全般に関する基本的な考え方、特徴など
マネジメント系 IT管理	プロジェクトマネジメント、システム開発などIT管理に関する基本的な考え方、特徴など
テクノロジ系 IT技術	ネットワーク、セキュリティ、データベースなどIT技術に関する基本的な考え方、特徴など

試験内容

試験時間	120分	解答形式	四択択一式	受験手数料	5,700円 (消費税込み)
出題数	100問 ■出題方式 小問:100問 ■出題分野 経営全般(ストラテジ系) 35問程度 IT管理(マネジメント系) 20問程度 IT技術(テクノロジ系) 45問程度				
合格基準	総合スコア、分野別スコアのすべてが次の基準を満たすこと 総合スコア 600点以上/1,000点(総合スコアの満点) 分野別スコア 経営全般(ストラテジ系) 300点以上/1,000点(分野別スコアの満点) IT管理(マネジメント系) 300点以上/1,000点(分野別スコアの満点) IT技術(テクノロジ系) 300点以上/1,000点(分野別スコアの満点)				

出題の特色

- check 01 実務で遭遇する身近な場面を取り上げた問題を織り交ぜて出題します。
- check 02 業務を安全に遂行するために必要となる情報セキュリティに関する知識について、積極的に出題します。
- check 03 業務を理解する上で必要となる経営全般の基礎知識を出題します。
- check 04 最新の技術動向に関する問題を積極的に出題します。

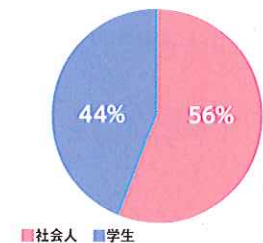
応募者データ

※平成27年度統計情報に基づくデータ

●累計応募者数

開始7年で
69万人!!
(691,615人)

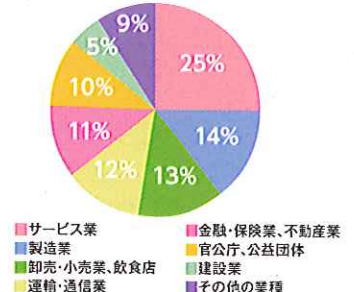
●社会人・学生の割合



●社会人・大学生の合格率

社会人
57.0%
大学生
45.2%

●社会人/非IT系業種の内訳



団体申込み

バウチャーチケットのご利用が便利です!

企業・学校などで、受験手数料を一括支払いできる「バウチャーチケット」をご購入いただくと、担当者向けの「成績情報提供サービス」がご利用になれます。

メリット 01 社員・学生(受験者)の成績情報を管理

メリット 02 成績情報(テキストデータ)により、社内の効果測定等に活用

メリット 03 銀行振込による一括支払いが可能(請求書発行対応も可能)

メリット 04 少人数での申込み・支払いにも対応(1枚から購入可能)

ご提供する成績情報 / チケット番号、チケット使用状況、チケット使用日、受験番号、氏名、受験日、総合スコア、分野別スコア、合格証書番号 など

組織の強み・弱みが一目でわかる「正答率レポート」出力サービスをご利用ください。全国の社会人、学生と14のカテゴリ別に比較! バウチャーご利用者様向けのサービスです。

お問い合わせ先

IPA Better Life with IT 独立行政法人情報処理推進機構 IT人材育成本部 情報処理技術者試験センター

ITパスポート試験 コールセンター

TEL 03-6204-2098 E-mail call-center@cbt.jitec.ipa.go.jp (特定電子メールは送信しないでください。)

詳細はホームページをご確認ください。 <https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

iパス

検索